

カンキツ「津之望」の高糖度生産のための 時期別横径指標

中晩生カンキツ「津之望」は露地栽培で果皮が滑らかで浮皮がほとんど無い良食味品種で普及が期待されていますが、果実肥大の推移や目標階級が明確ではありません。長崎県農林技術開発センター果樹・茶研究部門では、露地栽培果実の調査結果から、果実肥大特性や目標果実の大きさ、及び時期別の肥大目安値を明らかにしたので紹介します。

☆技術の概要

1. 成熟した果実は扁球形で、横径と重量は正の相関が高く、階級 2 L で 160～200 g に達します (図 1)。
2. 2 か年間の調査結果から、果実が大きくなると糖度が低くなる傾向があり、1 月収穫時点で糖度 13 を確保するには、2 L 階級までの果実生産が望ましいといえます (図 2)。
3. 6 月 30 日時点の横径と収穫時の横径の相関係数は 0.83 と高く、以降約 40 日間隔で相関係数が大きくなります。目標階級 2 L の目安値は 6 月 30 日で 28～29mm、8 月 10 日で 45～48mm、9 月 20 日で 59～64mm です (表 1)。

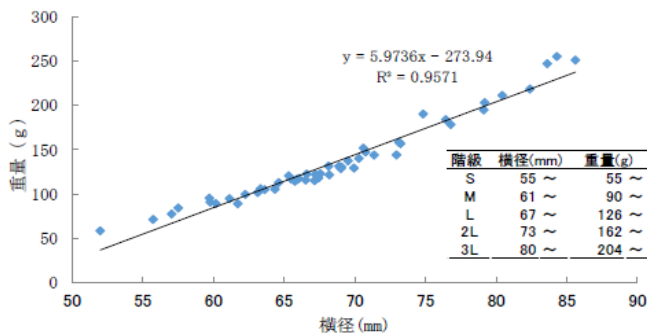


図 1 果実横径と重量

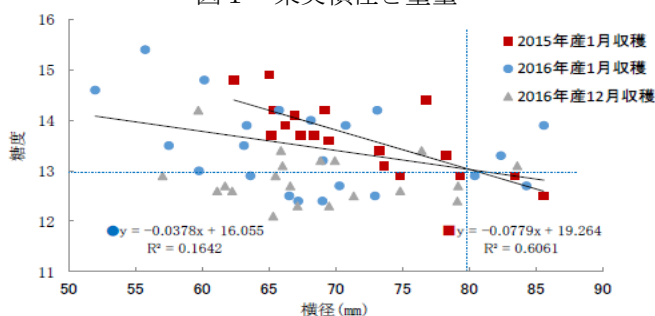


図 2 収穫時期別の果実横径と糖度

表 1 目標階級別の時期別果実横径目安値

目標階級	6月30日	7月20日	8月10日	8月30日	9月20日	10月10日	10月30日	11月20日
M	23～24	31～33	37～40	45～48	50～54	54～59	58～63	60～65
L	25～27	34～36	41～44	49～52	55～58	60～64	64～68	66～71
2L	28～29	37～39	45～48	53～57	59～64	65～70	69～75	72～78
3L	30～	40～	49～	58～	65～	71～	76～	79～
相関係数 ¹⁾	0.83	0.81	0.90	0.91	0.94	0.95	0.97	0.97

¹⁾ 各時期と収穫時の横径

☆活用面での留意点

1. 果樹・茶研究部門内で 2014～2016 年の 3 カ年間、及び西海市現地圃場で 2016 年に、生理落果後 (満開日は 5 月 4～5 日) から約 20 日間隔で肥大調査を行い、12 月～1 月に部門内果実を収穫し分析した結果です。
2. 階級についてはウンシュウミカン規格で整理しています。
3. 樹上に長期間着果するほど糖度は高くなりますが、果梗部小亀裂の発生が多くなるため、1 月上～中旬の収穫が望ましいです。
4. 着果性が良いが着果過多になると隔年結果するため、葉数に応じた着果量を遵守してください。
6. 詳細は長崎県農林技術開発センター果樹・茶研究部門カンキツ研究室 (0957-55-8740) にお問い合わせください。

(農研機構果樹茶業研究部門 研究推進部 果樹連携調整役 大崎 秀樹)